

## 2019 年度 小委員会活動成果報告

(2020 年 1 月 28 日作成)

小委員会名	建物健全性モニタリング小委員会	
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (振動運営委員会)	主 査 名：佐藤 貢一 就任年月：2017 年 4 月
設 置 期 間	2017 年 4 月 ～ 2021 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>地震動を受けた構造物の健全性を迅速に判断するモニタリング評価法、モニタリング結果による設計活用および建物室内の被害状況について、総括的に調査することを目的に活動。</p> <p>初年度：既往モニタリング文献の収集 2 年度：既往モニタリング文献（国内外）の整理・分析 3 年度：シンポジウムの開催、モニタリングのロードマップや建物健全性評価法について検討 4 年度：モニタリング技術に関する手引書と事例集</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：有	
	<p>主査：佐藤貢一(大成建設) 幹事：曾根孝行(竹中工務店)、肥田剛典(東京大学) 委員：池田芳樹(京都大学防災研究所)、楠浩一(東京大学)、白石理人(清水建設)、ジロン・ニコラ(日建設計)、薛松濤(東北工業大学)、中嶋唯貴(北海道大学)、西村功(京都市大学)、丸谷翔平(日本設計)、三浦耕太(大林組)、三田彰(慶應義塾大学)、向井洋一(神戸大学)、渡壁守正(広島工業大学)</p>	
設置 WG (WG 名：目的)	建物モニタリング技術調査WG：モニタリング技術の実施物件用途や動向の調査を行い、ロードマップの整理を行う。	
2019 年度予算	160,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会 承認企画	1. シンポジウム「建物の健全性モニタリング評価技術の取り組みと今後の課題」 『同名資料』 参加者数 96 名
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	<p>1. 本小委員会発足に掲げた活動計画に従い、地震直後対応を位置づけとした建物モニタリングの研究と実運用についてシンポジウム開催を通じ、モニタリングの課題とまとめを示した。</p> <p>2. 本小委員会とWGメンバーでまとめたロードマップを作成し、中間報告としてシンポジウム資料に記載した。</p> <p>3. 建物健全性評価法の 1 つであるシステム同定手法のデモンストレーションとプログラムをシンポジウムで公開することで、若手技術者・設計者への継承と研究開発向上を目指した。</p>
委員会活動の問題点・課題	<p>1. 建物モニタリングの研究促進と実運用展開をさらに進める必要があるため、国や行政へのヒアリングを行い、学会としての方向性を定める必要がある。</p> <p>2. 各建物の観測データ公開の困難さがある。</p>